

**TOSHIBA**

Leading Innovation >>>

# 2015年度 第3四半期 決算説明資料

2016年 3月14日  
東芝テック株式会社

---

# 1. 過去の業績訂正

## 2. 2015年度第3四半期 決算

## 3. 2015年度 業績見通し

# 業績訂正の概要

---

- ✓ 外部の年金数理計算受託会社から「事務過誤に起因して、(当社の)退職給付債務の過去の計算結果に一部誤りがあった」旨の報告を受領。
- ✓ 同債務の再計算およびこれにともなう過去(2014年度第1四半期～2015年度第2四半期)の連結財務諸表及び財務諸表の訂正を行うため、2015年度第3四半期決算発表を延期。
- ✓ なお、連結財務諸表及び財務諸表訂正に際しては、同債務にかかる訂正に加えて、上記期間において重要性がないため修正を行っていなかった誤謬についてもあわせて訂正を実施。

# 退職給付債務の誤りにかかる財務諸表への影響

- ✓ 14年度期首において退職給付にかかる負債が+16億円、これにともない期首剰余金は△10億円
- ✓ 14年度以降は、勤務費用の修正を計上

B/S

(単位：億円)

	14年度			15年度上期	
	期首	勤務費用の修正	計	勤務費用の修正	計
資産(長期繰延税金資産)	5.8	△0.1	5.7	△0.1	5.6
負債(退職給付にかかる負債)	16.4	△0.3	16.1	△0.3	15.8
純資産(利益剰余金)	△10.6	0.2	△10.4	0.2	△10.2

# 15年度上期 訂正後の業績サマリー

15年度上期P/L (単位：億円)	訂正後	訂正前	差異(再掲:退給)
売上高	2,648	2,641	+6 (-)
(内訳)リテールソリューション	1,581	1,575	+6 (-)
プリンティングソリューション	1,128	1,128	±0 (-)
営業利益(△は損失)	1	△5	+7 (+0)
(内訳)リテールソリューション	△65	△72	+8 (+0)
プリンティングソリューション	66	67	△1 (+0)
経常損失	△17	△23	+7 (+0)
親会社株主に帰属する当期 純損失	△736	△741	+5 (+0)
15年度上期末B/S (単位：億円)	訂正後	訂正前	差異(再掲:退給)
総資産	3,575	3,572	+3 (+6)
純資産	1,283	1,295	△12 (△10)

---

1. 過去の業績訂正

**2. 2015年度第3四半期 決算**

3. 2015年度 業績見通し

# 業績概要（2015年度9ヶ月累計）

- ✓ 9ヶ月累計実績は対前同で大きく減益するも、第3四半期(3ヶ月)では上期不振の主因となった海外リテール(GCS)が回復傾向
- ✓ 通期業績予想は前回('15.11.5)公表の通り

- **売上高**                    **3,946億円（対前同 +79億円）**  
為替の影響および海外プリンティング事業が堅調に推移したことにより2%増収。
- **営業利益**                    **33億円（対前同△100億円）**  
主には上期の海外リテール(GCS)不振により対前同△100億円の減益だが、3Q 3ヶ月では回復傾向を示し、上期累計(1億円)から黒字拡大。
- **親会社株主に帰属する四半期純損失**   **△776億円（対前同△811億円）**  
営業利益の悪化に加え、GCS関連資産の減損(658億円)などにより、△811億円の減益。
- **通期業績予想**  
前回公表からの変更はなく、売上高5,300億円、営業利益60億円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する純損失△790億円と予想。

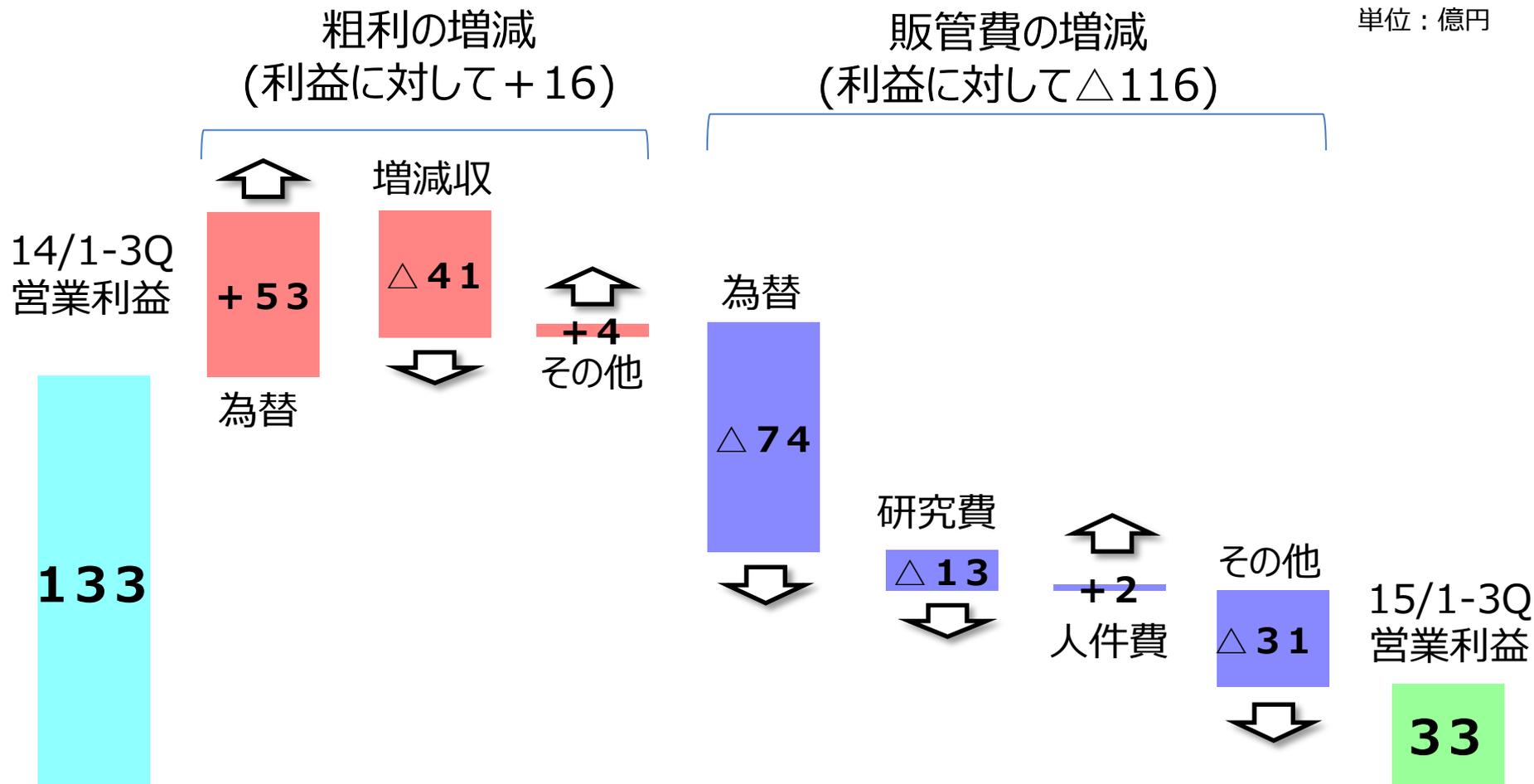
# 2015年度9ヶ月累計 業績

(単位：億円)	15年度			14年度 9ヶ月累計	差異 対前同	
	上期	第3四半期	9ヶ月累計			
売上高 (伸長率)	2,648	1,298	3,946	3,867	79 (102%)	
営業利益 (対売上高比率)	1 (0.0%)	32 (2.4%)	33 (0.8%)	133 (3.4%)	△100 (△2.6%)	
経常利益(△は損失) (対売上高比率)	△17 (△0.6%)	14 (1.1%)	△3 (△0.1%)	90 (2.3%)	△92 (△2.4%)	
税金等調整前四半期 純利益(△は損失) (対売上高比率)	△688 (△26.0%)	10 (0.8%)	△678 (△17.2%)	83 (2.2%)	△762 (△19.4%)	
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (対売上高比率)	△736 (△27.8%)	△40 (△3.1%)	△776 (△19.7%)	35 (0.9%)	△811 (△20.6%)	
為替レート(円)	US\$	121.76	121.23	121.58	105.82	+15.76
	EUR	134.55	132.56	133.89	139.85	△5.96

# 営業利益の増減分析 (2015年度9ヶ月累計)

為替の影響は、原価・販売管理費あわせて△21億円  
 営業利益悪化要因は主に販売管理費の増加

単位：億円



# セグメント情報(1) 2015年度9ヶ月累計 実績

(単位：億円)		15年度			14年度	差異 対前同
		上期	第3四半期	9ヶ月累計	9ヶ月累計	
リテール ソリューション	売上高 (伸長率)	1,581	802	2,383	2,408	△25 (99%)
	営業利益(△は損失) (対売上高比率)	△65 (△4.1%)	△8 (△1.0%)	△73 (△3.1%)	16 (0.7%)	△89 (△3.8%)
プリンティング ソリューション	売上高 (伸長率)	1,128	525	1,653	1,551	+102 (107%)
	営業利益 (対売上高比率)	66 (5.8%)	40 (7.6%)	106 (6.4%)	117 (7.6%)	△11 (△1.2%)
全社	売上高 (伸長率)	2,648	1,298	3,946	3,867	+79 (102%)
	営業利益 (対売上高比率)	1 (0.0%)	32 (2.4%)	33 (0.8%)	133 (3.4%)	△100 (△2.6%)

(注)14年度の実績は新セグメントに組み替えて表示しています。

# セグメント情報(2) リテールソリューション

(単位：億円)		15年度			14年度	差異 対前同
		上期	第3四半期	9ヶ月累計	9ヶ月累計	
リテール ソリューション	売上高 (伸長率)	1,581	802	2,383	2,408	△25 (99%)
	営業利益(△は損失) (対売上高比率)	△65 (△4.1%)	△8 (△1.0%)	△73 (△3.1%)	16 (0.7%)	△89 (△3.8%)

## ◆ 国内市場向POSシステム等

小売業・飲食業による新規出店計画の抑制傾向が継続。専門店／ショッピングセンター向けPOS端末等の販売が減少し、対前同で売上減。

## ◆ 海外市場向POSシステム等

上期の不振が響き9ヶ月累計では売上減だったものの、10～12月では販売に回復傾向がみられ売上増。(いずれも対前同/為替除)

# セグメント情報(3) プリンティングソリューション

(単位：億円)		15年度			14年度	差異 対前同
		上期	第3四半期	9ヶ月累計	9ヶ月累計	
プリンティング ソリューション	売上高 (伸長率)	1,128	525	1,653	1,551	+102 (107%)
	営業利益 (対売上高比率)	66 (5.8%)	40 (7.6%)	106 (6.4%)	117 (7.6%)	△11 (△1.2%)

## ◆ 海外市場向MFP等

現地通貨ベースの対前同は、米州、欧州が横ばい、アジアは増収。為替効果により米州も増収。全体の売上では対前同で107%増。

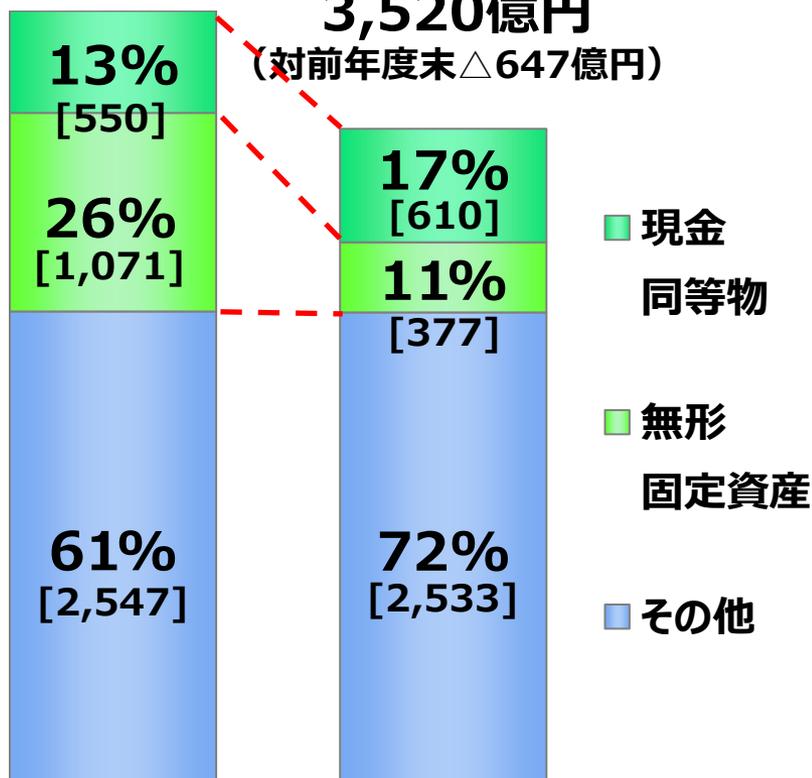
# 貸借対照表(1)

## 資産の部

4,168億円

3,520億円

(対前年度末△647億円)



### ◆ 現金同等物

短期借入金(増)、営業キャッシュフロー(減)などの増減の結果、60億円の増加。

### ◆ 無形固定資産

9月末に実施したGCS関連資産の減損等により694億円の減少。

15年3月末

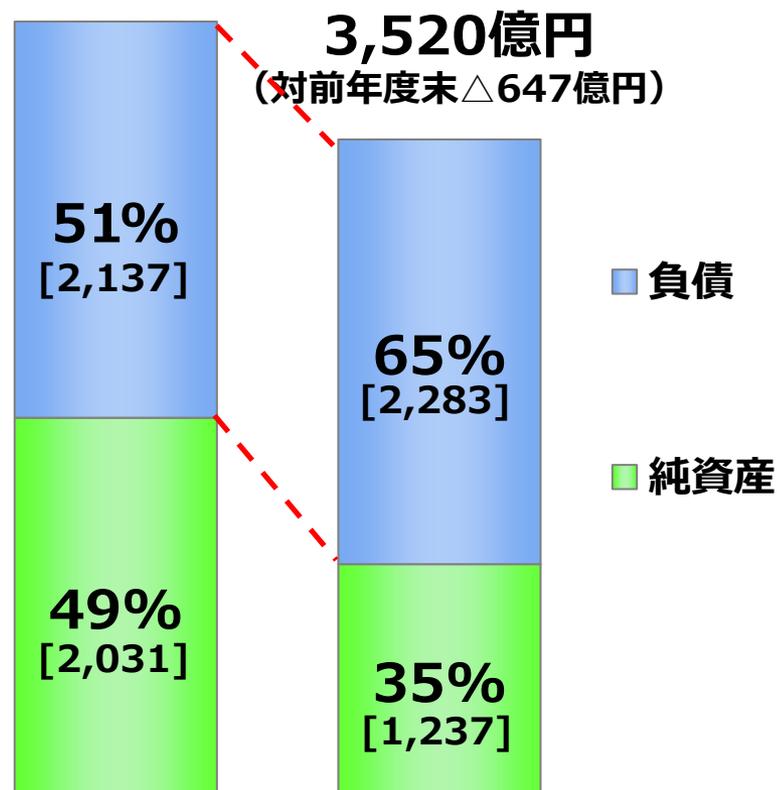
15年12月末

注. [ ] 内 科目別残高 (単位: 億円)

# 貸借対照表(2)

## 負債及び純資産の部

4,168億円



15年3月末

15年12月末

注. [ ] 内 科目別残高 (単位: 億円)

### ◆ 負債

支払手形及び買掛金が160億円減少するも、短期借入金が245億円増加したこと等により、全体では146億円の増加。

### ◆ 純資産

主にはGCS関連資産の減損等により、利益剰余金が795億円減少。

---

1. 過去の業績訂正

2. 2015年度第3四半期 決算

**3. 2015年度 業績見通し**

# 2015年度 業績見通し

(単位：億円)	15年度 今回予想	15年度 前回予想	14年度 実績	差異	
				対前回予想	対前年度
売上高 (達成率/伸長率)	5,300	5,300	5,246	±0 (100%)	+54 (101%)
営業利益 (対売上高比率)	60 (1.1%)	60 (1.1%)	171 (3.3%)	±0 (0.0%)	△111 (△2.2%)
経常利益 (対売上高比率)	20 (0.4%)	20 (0.4%)	104 (2.0%)	±0 (0.0%)	△84 (△1.6%)
親会社株主に帰属する 当期純損失 (対売上高比率)	△790 (△14.9%)	△790 (△14.9%)	△11 (△0.2%)	±0 (0.0%)	△779 (△14.7%)
為替レート(円) US\$	120.00	120.00	109.16	±0.00	+10.84
EUR	132.00	132.00	139.43	±0.00	△7.43

# セグメント情報 2015年度業績見通し

(単位：億円)		15年度	15年度	14年度	差異	
		今回予想	前回予想	実績	対前回予想	対前年度
リテール ソリューション	売上高 (達成率/伸長率)	3,220	3,190	3,244	+30 (101%)	△24 (99%)
	営業利益(△は損失) (対売上高比率)	△70 (△2.2%)	△70 (△2.2%)	△4 (△0.1%)	±0 (0.0%)	△66 (△2.1%)
プリンティング ソリューション	売上高 (達成率/伸長率)	2,240	2,270	2,131	△30 (99%)	+109 (105%)
	営業利益 (対売上高比率)	130 (5.8%)	130 (5.7%)	175 (8.2%)	±0 (0.1%)	△45 (△2.4%)
全社	売上高 (達成率/伸長率)	5,300	5,300	5,246	±0 (100%)	+54 (101%)
	営業利益 (対売上高比率)	60 (1.1%)	60 (1.1%)	171 (3.3%)	±0 (0.0%)	△111 (△2.2%)

(注)14年度の実績は新セグメントに組み替えて表示しています。

# Human Smart Community

by Lifenology – the technology life requires



---

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

**TOSHIBA**

**Leading Innovation >>>**